

お世話になっております。

先週、当財団の調査研究事業の一環としてアメリカ カリフォルニア州における“CASE”(Connected;つながる、Autonomous;自律走行、Shared;共有、Electric;電動化)への取り組みについて、政策当局等へのヒアリングを行ってまいりました。

今回の取材では自動車関連団体・企業の方々にも参加していただき、同州サンディエゴ、サンフランシスコを訪ねました。

具体的な訪問先と取材内容（テーマ）は以下の通りです。

尚、当調査の結果は、今後の Web マガジン『Trafii-Cation』や定期報告書『JAEF REPORT』にてお知らせしてまいります。

<サンディエゴにて>

1) San Diego Association of Governments(SANDAG)

サンディエゴ地域政府機関のひとつで、サンディエゴを中心とした地域の公共交通の企画、研究を行っています。地域の人口増加が続く中、地球温暖化を抑えながらの地域の交通システムの再構築等について伺いました。

2) Center for Sustainable Energy(CSE)

「脱炭素化」を目指し、電気自動車などゼロエミッション車の普及促進、充電インフラ設定の支援等を行う NPO 団体です。現在の具体的な取り組み、進捗状況等について伺いました。

3) American Automobile Association(AAA)

会員数約 4,600 万명으로構成される世界最大の自動車クラブで、日本の JAF に相当する組織です。加入者に対して自動車ドライバーに対し救援などのロードサービスや、旅行情報を提供しています。昨今、日本でも問題となっている高齢者ドライバー対策についてヒアリングしました。

<サンフランシスコにて>

4) Bay Area Air Quality Management District (BAAQMD)

カリフォルニア州 サンフランシスコベイエリアにおける大気質を管理・改善する公共機関です。同地域での EV 普及促進、交通量の縮減等、大気浄化・温室効果ガス削減への取り組みについて話を伺いました。

5) Landside Opraration San Fransisco International Operation

サンフランシスコ国際空港の運営母体です。Uber や Lyft といったライドシェアの増加や電気自動車が普及する中での、空港内での交通流の改善・充電インフラ敷設の取り組みについて話を伺いました。

当調査の様様を F e c e b o o k に投稿していますので、合わせてご覧願います。

<https://www.facebook.com/jaef2019/>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、下記よりお願いします。

▼登録内容編集

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>

過去に配信したメルマガは、以下 URL よりご覧になれます。

▼バックナンバー

<http://www.jaef.or.jp/7-mail-magazine/index.htm>